



大雨に見舞われる日もあった5月、版画家の花村泰江さんをお招きして実技講座「色刷り木版画をつくろう」を実施しました。この講座は、井上安治生誕150年記念 絵師たちの視線—安治・清親・光逸—展の関連プログラムとして、水性木版画による多色刷りを体験しました。1日目は、版画についての講義と下絵を描くところから始めました。自分の好きな花の絵や、富士山、サーフボードにハイビスカスといった茅ヶ崎らしい絵柄の方もいました。2日目は、下絵に色鉛筆で色を塗り、色ごとに版に転写し、彫るという作業を行いました。絵柄によっては、5枚から6枚の版を刷るといふ参加者の方も居て、花村さんから彫刻刀の使い方を伝授されて、皆さん真剣に作業に取り組んでいました。3日目には、水性絵の具を使って、いよいよ刷りの作業。どんな絵柄が出るのかやってみるまで分からない刷り作業に皆さんワクワクしながら取り組んでいました。下絵を描くところから始まり、色分けして版に転写し、彫って、刷るといふ一連の工程を経て、版画の仕組みを知りながら、色の重なりを楽しむプログラムとなりました。

- 実施日 平成26年5月15日(木)、22日(木)、29日(木) 13:30～16:00 (全3回)
- 講師 花村泰江(版画家)
- 対象 18歳以上
- 参加者 15名



1

版画についての講義



2

絵柄を決める



3

彫刻刀の使い方の説明



4

彫り作業



5

色の重なりを確認



6

刷り上がった作品

● 講師プロフィール

花村泰江(はなむらやすえ)(版画家)

1996年ボストン生まれ。筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了後、ドイツブラウンシュバイク藝術大学に留学。福島県立美術館や横浜美術館にて木版コラグラフの講座指導歴や、共立女子大学非常勤講師ほか、横浜市のカルチャースクールや子ども向け造形教室において指導にあたっている。また東京近郊ギャラリーにて個展を多数開催。資生堂ADSP入選(2006年)、日本版画協会準会員、大学版画学会会員。